

第3期宮前区区民会議 第5回地参知笑部会^{ちさんちしょう}

～ 地域の魅力を知り、地域社会への参加につなげ、笑顔あふれるまちに ～

日時：平成23年4月15日(金)15:00～17:00

場所：宮前区役所 第2会議室

次 第

- 1 前回の振り返り
- 2 冊子による情報発信と仕掛けづくりについて
- 3 その他

【配布資料】

資料1 第4回地参知笑部会 摘録(案)

資料2 第3期宮前区区民会議 中間報告書 ⇒中間報告書は「トピックス」からダウンロードしてください

参考1 グルぐるたまぐ

第3期宮前区区民会議 第4回 地参知笑部会 摘録(案)

日 時 平成23年1月28日(金) 18:00~20:00

場 所 宮前区役所 第1会議室

参加者 委 員 山下委員長、恒川副委員長、持田部会長、河井委員、中村委員、
高橋委員、種村委員、直本副委員長(オブザーバー)

事務局 岩佐企画課長、白石職員、鈴木職員
佐谷コンサルタント

1 前回の振り返り

持田 修正等は特にないようであるが気づいたことがあれば事務局に知らせてほしい。

2 コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり

持田 アイデアの中に「情報」というのがあるがどうか。

高橋 情報提供はやり方が難しい。インターネットとともに紙媒体も重要である。回覧板はバラバラな情報をまとめれば読んでもらえるかもしれない。また、市報はコンビニに置いてもらうようになったことから企業を巻き込むこともある。区内の情報は宮前ぽ一たろうがまとめているので、それを紙媒体にしていけるのが一つの方法だと思う。

持田 何を発信するかが問題になる。方法は内容が決まってからでもいいと思う。

高橋 発信内容は区役所の情報だけでもいいと思う。ミクシィの利用など。

区 情報は必要だが、バラバラだと見なくなる。

高橋 区民に情報が届いてない感じがする。

持田 カルタづくりについて、ミクシィに載せてみたら訪問者の足跡がたくさんついた。まず、何を発信するかを詰めていきたい。マラソンについては活力部会で話が進んでいくかもしれないので、それにコラボする方法を考えたい。自分の体験としては、地域の人に誘ってもらってお神輿を担ぐようになってから地域に愛着が湧いた。

高橋 地域ごとの情報提供をした方がいいのかもしれない。宮前区に愛着を持つより、地域に愛着を持つようにする。

持田 区民祭より地域のお祭の方が愛着をもってもらえると思う。

平井 地域のお祭の紹介は既にある。区民に情報が届いてないというのは情報が多すぎるからだと思う。区民会議で集約してはどうか。

種村 宮前区に愛着をもつのはゲートボールで市の大会に出たとき。宮前区内の試合では宮前区に愛着を持たない。

恒川 情報発信についてコンセンサスを持った方がいい。イベントについて町会で2回回覧したが知らない人が多かった。情報発信の方法を検討していく必要がある。また、宮前区全体なのか、地域ごとなのかを検討したい。「何を」は農産物などで、顔の見えるまちにしていける。既にどこかのやっていることを発信してもいいと思う。

平井 いろんなところが発信していることを1枚に集約していくとかが考えられる。

高橋 それは「歳時記みやまえ」とは違うのか？

平井 届かないのは見てないということ。

高橋 銀行、病院などでテレビで宮前区の情報発信をしている。

第3期宮前区区民会議 第4回 地参知笑部会 摘録(案)

種村 興味深いものを抜粋して載せる必要がある。

持田 情報が届いているか、見てないのか。

恒川 町内会には組があり、一組に40軒ある。回覧を回すのに時間がかかる。

平井 回覧の組を2つに分けてもらうことはできないのか？

恒川 難しい。組が240組もある。

平井 ネットを見る人はいいが、紙ベースのものも必要。

持田 見たくなるようなものを発信していかないといけない。農産物や神社の参拝の仕方など。

山下 坂道ウォーキングは活力部会でやると思う。情報を見てもらうということでは、各戸に1冊ずつ配布する方法もある。

平井 マラソンを活力部会でやるのなら、それにコラボしてはどうか。

区 活力部会では坂道マラソンやウォーキングをやる方向で話が進んでいる。目黒区や座間市の事例を研究している。また、目黒区のマップはいいという話が出ていて、坂道マップが軸になりそうである。

河井 直売所のマップは市民館の関係でつくっている。

持田 マラソンについては活力部会が動いているので、この部会で集めたものを提供したらいいのではないかな。

平井 マラソンに参加して楽しんでもらえるものを提供することになるのではないかな。

持田 我々が地域の産物の価値をわかって、それを人に薦めて、地域に愛着をもってもらうという流れではないか。イベントはあっているがイベントだけではないと思う。

高橋 直売所のマップは観光協会がJ Aと提供してやろうとしたが、つくるという話を聞いて今はやめている。

区 この部会は産物を入り口にしてコミュニティづくりをしようとしている。産物の情報を整理してはどうかという話もあった。

河井 カルタづくりの時に産物の整理は一度やった。宝探しをやった。

高橋 宮前のガイドマップもある。もっと調べるとのことなのか？

持田 もっと知りたいと思っている。お宮参りに明治神宮に行くのではなく、地元の神社に行ってほしい、紹介の仕方によってはそうなるのではないだろうか。

高橋 宮前ロールなどを区役所が紹介してもいいのか？一企業になるのではないかな。

恒川 「こういうものがある」ならいいのではないかな。

持田 宮前ロールは原材料が地元のものということは紹介できると思う。

区 行政が協力することはできる。企業や宗教についても区が関われる部分は拡大してきている。

高橋 来年度、シティセールスの資金で、るるぶ宮前区版をつくろうと思っている。

区 「あります」だけでなく「お神輿を担ぐ人を求めています」という情報の発信をしたらどうか。参加ができるようにしたらどうか。

平井 マラソンのポイントごとに、お神輿や小松菜の紹介や参加ができるようなことを考えたい。

区 区民会議としてるるぶを応援するというものもある。

河井 区民会議は実行部隊ではない。作成を観光協会にお願いするというものもある。

第3期宮前区区民会議 第4回 地参知笑部会 摘録(案)

区 転入時にるぶを配布するというのもある。

平井 この部分は宮前ぽーたろう、この部分は緑のフォーラム、この部分は冒険遊び場に
お願いすると分担でいいのか。

区 少し違う。冒険遊び場やカルタは区民会議の他に実行部隊がなかったので、引き続
きやっている。区民会議が実行部隊になる必要はない。

恒川 特徴あるお店は掴んでいるのか？

高橋 ある程度つかんでいる。

河井 宮前の素材を使っているお店はある。

持田 サイレントマジョリティが紹介する側に回って欲しい。

高橋 参考資料の宮前区の1年間の行事・イベントはいい情報が掲載されている。

持田 フロントタウンのまつりで、地域の情報を発信してもらうというのものもある。

恒川 北部市場で宮前区の産物を売るという方法もある。

山下 「かわさきいいなあ」という冊子はわかりやすい。

高橋 シティセールスの助成は2月25日が締切り。るぶの作成は再来年度でもいい。

持田 今年の8月には予算案をつくらないといけない。次回は情報を持ち寄るということ
でいいのか。

高橋 ガイドマップをつくるなら、記者を募集するという方法もある。

持田 「神社」などの掲載する大枠を持ち寄ったらどうか。

恒川 新しく宮前区にきた人に紹介するための冊子をつくと仮定して、目次をつくって
はどうか。

高橋 転入者が年間6000人ということなら、1万部ならつくれるかもしれない。

区 区で毎年予算を取ることはできない。

平井 参加につなげる仕組みも考える必要がある。

持田 既存のガイドブックなども活用しながら検討したい。

3 区民会議フォーラム

河井 セッティングやティータイムを担当したい。

4 その他

区 次回は3月16日(水)の午後6時から開催する。

河井 カルタは2000超の応募があった。各中学校で選考に入っている。実行委員会は立
ち上がっていないが、菅生では地域の人達に集まってもらって検討した。声がかかった
ら協力してほしい。

区 区民会議フォーラムに来てくれそうな人に声をかけてほしい。前回は40名超。

持田 各委員が一人ずつ連れてきてもらおうとちょうどいいと思う。